

クラス番号	623	担当教員名	伊藤 美智予
テーマ	現代社会における高齢者ケアについて考える		
著書・論文 研究課題等	【主な論文】 「認知症の人が活用しているインフォーマルサポートの種類と機能－認知症ケアマネジメントへの示唆」『日本認知症ケア学会誌』12(4),731-741(2014)／「認知症ケアマネジメントにおける医療と介護の連携の現状と課題－医師からみたケアマネジャーとの連携への評価」『日本認知症ケア学会誌』12(4),753-762(2014)／「要介護認定データを用いた特別養護老人ホームにおけるケアの質評価の試み－11 指標群の作成と施設間比較」『厚生指標』60(5),14-23(2013)／「ケア実践者が研究的活動を行うことの意義と課題－認知症介護指導者養成研修における『個別課題プログラム』を通して」『日本認知症ケア学会誌』12(2),479-489(2013)／「ケアの質評価の到達点と課題－特別養護老人ホームを中心に」『季刊社会保障研究』48(2),120-132(2012) 【研究課題】 1. 事業所におけるケアの質マネジメントシステム構築に関する研究 2. 認知症の人と家族への支援方策に関する研究 3. 社会福祉専門職のキャリア形成に関する研究		
ゼミナール概要			
キーワード：ケアの質，認知症ケア，家族支援，専門職キャリア形成，組織マネジメント，リスクマネジメント			
1. 私の問題意識 私は大学時代の老人病院でのアルバイト経験から，高齢者医療・福祉に関心をもつようになりました．大学卒業後，特別養護老人ホームに勤務した経験もあります．現在では，3つのアプローチ①人づくり：ケアする側（家族，専門職）をどうケアするか，②組織づくり：ケアの質向上を志向する事業所をどうつくるか，③地域づくり：特に認知症の人や家族を地域でどう支えるかーから，ケアの質向上や高齢者・家族の QOL 向上について考えています．			
2. 目的 本ゼミでは，キーワードにあるようなテーマを取り上げながら，①現代社会における高齢者ケアの現状と課題を正しく理解すること，②今後の高齢者ケアのあり方について検討することの2点を目的とします． ゼミでの全体的な学びを通して，人がもつ価値観の多様性や物事の多面性など「人や生活課題をどのように捉えるか」というソーシャルワーカーに求められる基本的視点を身につけるとともに，自らの頭で考え，自らの心で感じ，自らの言葉で説明することができる人材の育成を目指します．			
3. 授業計画(内容・方法) 概ね以下のように考えています．ゼミ内容や方法，スケジュールの詳細については，皆さんと相談しながら決めていきたいと思います． 3年次前半は，論文執筆のための基本的スキルを身につけること，高齢者ケアをとりまく現状と課題について理解することを中心に展開します．毎回担当者（個人またはグループ）を決め，報告してもらいます．文献の読み方やまとめ方，プレゼンテーションの仕方などを学びます． 3年次後半には，各自の問題意識を明確化し，卒業論文の具体的課題を設定します．文献学習を深めるとともに，ゼミ生の興味関心に応じて，医療・介護現場でのフィールドワークやグループ学習を積極的に取り入れます． 4年次には，個々の関心に基づき卒業論文の執筆を進め，秋には完成させます．その後は社会福祉士国家試験に向けた学習をします．			
担当教員からのメッセージ			
学生時代は人生において大変貴重な時間だと思います．ゼミとしても，人とのつながりを大切にしながら，自身の見聞を広め，感性を磨くことができるような場づくりや学習機会の提供を行っていききたいと思います． 「たくましく」成長しあえるゼミにしていければと考えています．新しいことにどんどんチャレンジし，何事においても積極的に学ぼうとする姿勢をもつ学生を歓迎します． エントリーシートには，①このゼミを選んだ理由，②現段階での希望進路とその理由の2点について記載してください．			